

2019年度 明治学院大学 FD活動について（報告）

■FDとは

FD（ファカルティ・デベロップメント）は、

「授業の内容及び方法の改善を図るための組織的な研修及び研究を実施する取り組み」
のことです。

これは、大学設置基準第25条の3に規定され、教学マネジメント指針（2019 中教審）
においても上記を用いております。

本学においてはFD・教員評価を、

「大学の教育理念および各学部・学科・教養教育センター・教職課程、各研究科・専攻
の教育目標に則した授業内容や教育方法を評価・改善し、教育の質の向上を図る組織的な
取り組みの総称」（FD・教員評価検討委員会規程 第2条）

としております。

■2019年度のFD活動

1. FD・教員評価検討委員会開催

開催	議題
第1回 5月7日(火)	・2019年度の授業評価秋学期の日程について(継続審議) ・2019年度 各学部FD活動報告について
第2回 7月16日(火)	・授業評価実施方法について(継続審議)
第3回 10月1日(火)	・2019年度秋学期授業評価実施について ・2020年度授業評価調査票について ・2020年度FD・教員評価検討委員会 実施日程(案)について
第4回 1月14日(火)	・2020年度授業評価実施方法について(継続)
第5回 3月10日(火)	・2020年度第1回FD委員会の日程変更について ・2020年度授業評価実施期間(案)について

2. 「学生による授業評価」の実施

学期	実施日	実施状況
春学期	7月8日(月) ～7月20日(土)	対象授業：学部 2,118 大学院 60 実 施：学部 1,942 (91.7%) 大学院 47 (78.3%)
秋学期	12月13日(金) ～1月9日(木)	対象授業：学部 2,014 大学院 61 実 施：学部 1,775 (88.1%) 大学院 47 (77.0%)

3. FD関連学外研修会等への参加

①	日本私立大学連盟主催「FD推進ワークショップ(新任専任教員向け)」 テーマ：大学職員の職能開発とFD 日 程：8月6日～7日、8日～9日 参加者：鈴木和彦(文学部)、菅 正広(法学部)、滑川瑞穂(心理学部)、平子雪乃(心理学部)、 塩谷 祐人(教養教育センター)、徳間 晴美(教養教育センター)、中野綾子(教養教育センター)
②	大学コンソーシアム京都主催「第25回FDフォーラム」 テーマ：主体的な大学のあり方を考える 日 程：2月29日～3月1日 ※新型コロナウイルスの影響により中止
③	大学教育改革フォーラム in 東海実行委員会主催「大学教育改革フォーラム」 日 程：3月9日 ※新型コロナウイルスの影響により中止
④	京都大学高等教育研究開発推進センター主催「第25回大学教育研究フォーラム」 テーマ：「2040年の社会と高等教育・大学を展望する」 日 程：3月18日～19日 ※新型コロナウイルスの影響により中止

4. 学内FD講演会・説明会の開催

①	<p>第1回FD講演会「教学マネジメントの推進に向けて」 －3つのポリシーの一体的改善と教育課程の体系化－</p> <p>内 容：「教学マネジメントの推進」をテーマに、特に3ポリシーの実質化について玉川大学の事例も踏まえながら説明。</p> <p>日 程：5月29日(水) (白金校舎) ※横浜校舎同時中継</p> <p>参加者：教員24名 職員24名</p>
②	<p>第2回FD講演会「シラバスの書き方、使い方」 －シラバス執筆ガイドの有効な利用法－</p> <p>内 容：2020年度シラバスの変更点の説明、シラバス作成のポイントと課題・発表のワークショップ</p> <p>日 程：10月1日(火) (白金校舎)</p> <p>参加者：教員19名 職員3名</p>
③	<p>第3回FD講演会「キャリア教育について」</p> <p>内 容：朝日新聞社と大学と協働したキャリア教育などの事例を紹介</p> <p>日 程：1月14日(火) (白金校舎)</p> <p>参加者：教員24名 職員15名</p>
④	<p>第4回FD講演会「高等教育政策の現在の動向について」</p> <p>内 容：「高等教育機関における教育・研究改革の一体的推進」を実行する事の意味を、元文部科学省高等教育局長の立場から包括的に説明。</p> <p>目 的：授業の中で取り組むきっかけをつくる。</p> <p>日 程：3月10日(火) (白金校舎)</p> <p>参加者：教員38名 職員17名</p>

5. 学部・学科のFD活動

<p>文学部</p>
<p>2019年度文学部FD活動報告</p> <p>文学部のFD活動は、大別すれば二つに分けられる。ひとつは、全教員対象のFD講演会（計4回開催）やIR報告会への参加であり、もう一つは、各学科・課程単位の活動である。前者に関しては重複を避けるために触れないが、後者に関しては下記のような内容であることを報告する。またこれも全学的な課題であったが、各学科・課程ともに、授業科目のナンバリングに取り組み、次年度より公表される。</p> <p>◆英文学科</p> <p><英語能力の測定について></p> <p>今年度より、英文学科生の4技能における英語力を経年的に測定し、教育内容・方法等の改善に活かすために導入したGTEC Academic 4技能版の結果報告資料に基づき、意見交換を行った。2019年度生のトータルスコアはCEFRのB1レベル以上であり、4技能のバランスは概ね取れているが、他技能に比べ Reading が若干低い傾向にあることが確認された。1年次必修科目のReading A・Bや基礎演習1の授業を通して、スキル・アップを図っていくことが確認された。</p> <p><シラバスの執筆について></p> <p>10月11日のFD講演会（成田秀夫氏・大正大学教授）の資料「シラバスの書き方、使い方ーシラ</p>

バス執筆ガイドの有効な利用法―」に基づいて学科主任が伝達講習を行った。特に、ディプロマ・ポリシーを実現する授業の在り方として「アクティブ・ラーニング型」授業づくりが求められていることが確認された。1月以降に予定されているシラバス執筆に際しては「習得タイプ」「活用タイプ」「探求タイプ」「体験タイプ」の類型化を参考にして、執筆を試みることになった。

◆フランス文学科

＜フランス語習熟度別クラスの編成と能力測定試験の導入＞

20年度から、2年生のフランス語授業において、習熟度別のクラス編成を導入することにした。そのため、1年時の秋学期終了時に全員受検する共通テストを作成することになり、数回にわたって出題内容の検討がなされた。このテストは、フランス文学科教員が作成した共通教科書に準拠したものである。

＜入試種別ごとのフランス語の成績の把握＞

この点については、従来より各学年の入試種別ごとのGPA平均値は大学より提供されている。ただフランス語に特化されたデータはなかった。その欠落を補うのに有効なのが、上述の1年次終了時点での共通テストであり、また教務課に依頼して算出してもらっている、4年間のフランス語科目のみの成績平均値である。ただ現状では、これらのデータを確認することにとどまっており、今後は、入試戦略へと積極的に生かす方法を考えるべきだろう。

◆芸術学科

＜新カリキュラム導入について＞

新カリキュラム移行後の状況についての意見交換、および問題点についての検討を行なった。各コースで不均等になっていた科目数の調整などが新カリキュラムにおいてなされ、さらに専任教員のいない総合コースの学生に対する学習の興味を考慮した新科目を設定したが、総合コースの学生への指導が十分ではないという現状を確認し、教員の配置など今後の態勢についての検討を進めることにした。

◆教職課程

教職課程では、講演会の開催、ワークショップ等の開催、学校等との連携、冊子の作成などを通じ、日々 の教職課程運営及び授業の改善に取り組んでいる。

＜講演会の開催＞

- 1) 現職教員を招き、教育現場の実際、教育実習への心構えの話をしていただいた(4年生向け：教育実習) 2019年4月23日(火)、24日(水)、25日(木)、5月9日(木)、10日(金)
- 2) 教員採用試験合格者を招き、3年生に助言をしていただいた(3年生向け：教員採用試験対策セミナー) 2019年11月20日(水)、27日(水)
- 3) 近隣の中学校長を招き、最近の学校の変化について、講演をしていただいた(文学部講演会) 2019年11月28日(木)

＜ワークショップ等の開催＞

- 1) 現職教員を招き、社会科の指導法について、講義していただいた(4年生向け：教職実践演習) 2019年11月30日(土)

＜学校等との連携＞

- 1) 教育実習校を訪問し、教育実習に関する意見交換を行い、次年度の教職課程運営に活かした 2019年5月～11月

2) 近隣の学校と連携し、学校現場を生で体感させる機会などを設けた(4年生向け：教職実践演習) 2019年11月14日(木) 港区立高松中学校

<冊子の作成>

1) 教員採用試験合格者に原稿を依頼し、『教員採用試験合格者の体験報告集』を作成した(3年生向け：教員採用試験対策セミナー) 2020年2月28日(金)

2019年3月6日(水)

③学校等との連携

a) 教育実習校を訪問し、教育実習に関する意見交換を行い、次年度の教職課程運営に活かす。

2018年5月～11月

b) 近隣の学校と連携し、学校現場を生で体感させる機会などを設けた(4年生向け：教職実践演習)。

2018年11月8日(木) 港区立高松中学校

④冊子の作成

a) 教員採用試験合格者に原稿を依頼し、『教員採用試験合格者の体験報告集』を作成した(3年生向け：教員採用試験対策セミナー)

2019年2月28日(木)

経済学部

2019年度 経済学部 FD活動

1. 全体として

経済学部では、経済学科、経営学科、国際経営学科でそれぞれのカリキュラムの特性があるため、学科で独自のFD活動を行うことにした。

2. 経済学科

活動日：5月29日、6月12日、12月18日、1月8日 1月14日 3月10日

経済学科は、ST比率が高く、専門科目の実質的なST比率については極めて高い、大学主催のFD活動を中心に活動することになった。

活動内容：経済学科勉強会

5/29 第1回FD講演会講師：玉川大学 菊池重雄先生「教学マネジメントの推進」について、特に3ポリシーの実質化の部分で玉川大学の事例紹介を含めた講演

6/12 学科FD活動第1回FD教学改革講演に関するフィードバックを学科会議で報告・共有した。

12/18 IR分析報告会 主催：自己点検推進室 学生アンケートの分析結果の報告

1/8 学科FD活動 経済学科会議及び経済学部教授会で、12/18開催のIR分析報告会の報告・資料回覧と協議を実施した

1/14 第3回FD講演会 FD・教員評価検討委員会 ■講師：朝日学生新聞社取締役 桜井 透 氏 キャリア教育について 朝日新聞社と他大学との共同プログラムの事例紹介

3/10 第4回FD講演会主催：FD・教員評価検討委員会 ■講師：常盤 豊 氏 (前 国立教育政策研究所 所長) 「高等教育政策の現在の動向について」高等教育機関における教育・研究改革の一体的推進を实行する意味などについて元文部科学省高等教育局長の立場から包括的な説明があった。

3. 経営学科

活動日：5月29日 7月3日 10月1日 12月18日 1月9日 1月14日 3月10日

経営学科は、自己点検の内容をフィードバックすると同時に、2020年度からデータ分析を授業に取り入れるための方法について検討した。

活動内容：経営学科勉強会

5/29 第1回FD講演会 講師：玉川大学 菊池重雄先生「教学マネジメントの推進」について、特に3ポリシーの実質化の部分で玉川大学の事例紹介を含めた講演

7/3 学科FD活動 内容：「経営学科における統計・データ分析教育のありかた」2020年度からデータ分析を授業に取り入れるための方法について検討した。

10/1 第2回FD講演会 FD・教員評価検討委員会 ■講師：大正大学 成田秀夫先生「シラバスの書き方、使い方」

12/18 IR分析報告会 主催：自己点検推進室 学生アンケートの分析結果の報告

1/9 学科FD活動 主催：経営学科 内容：「ピアレビューによる学科への評価と今後の取り組み」

1/14 第3回FD講演会 FD・教員評価検討委員会 ■講師：朝日学生新聞社取締役 桜井透氏 キャリア教育について 朝日新聞社と他大学との共同プログラムの事例紹介

3/10 第4回FD講演会主催：FD・教員評価検討委員会 ■講師：常盤豊氏（前 国立教育政策研究所 所長）「高等教育政策の現在の動向について」高等教育機関における教育・研究改革の一体的推進を実行する意味などについて元文部科学省高等教育局長の立場から包括的な説明があった。

4. 国際経営学科

活動日：5月11日 10月2日 11月9日 12月7日 12月18日 1月14日

国際経営学科は、分野ごとに相互授業見学会を行い、授業の改善のための情報共有と議論を進めた。大学主催のFD講演会を通じて、FD活動を進めた。

活動内容：経済学科勉強会

5/11 国際経営学科ではPSA12の講義を各分野ごとに相互授業見学を実施した。

10/2 trade&Industry 分野の相互授業見学。各教員が1時間ずつ講義した。

11/9 Management&Strategy分野の相互授業見学。各教員が1時間ずつ講義した。

12/7 Accounting&Finance分野の相互授業見学。各教員が1時間ずつ講義した。

12/18 IR分析報告会 主催：自己点検推進室 学生アンケートの分析結果の報告

学科FD活動 経済学科会議及び経済学部教授会で、12/18開催のIR分析報告会の報告・資料回覧と協議を実施した

1/14 第3回FD講演会・■講師：朝日学生新聞社取締役 桜井透氏 キャリア教育について 朝日新聞社と他大学との共同プログラムの事例紹介

社会学部

社会学部の2019年度FDの実施について報告する。

1. 社会学部FDの実施

社会学部としてFDを1回実施した。それを踏まえて、それぞれの学科および委員の活動を行った。もう一回を3月11日に実施する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止した。2019年7月10日 「学部研修会」として社会学部の今後に向けての意見交換を行った。

(1) 今後の学部FDの実施計画について

1) さまざまなハラスメント関係の研修を引き続き行う。

この結果、今年度は教員向けではなく、社会福祉学科の1年生向けに「デートDV」に関する講座を開催することになった。

2) E-Learning の使い方など

教員のFDの役に立つ情報や技の意見交換などの機会を教授会のあとの短時間にでも設けてもらいたいという提案があった。検討したが、E-Learning システムを2020年度から変更するために、変更してから実施するように変更した。

(2) 社会学部の将来構想についての意見交換

1) 社会学部の現状と課題の検討 (アドミッション・ポリシーとの関連)

入学制度別の入学者数について議論を行った。

2) 教員・スタッフについて

教員新任人事、大学院のTA、特別TAの任用、学部の教学補助職の仕事の内容などの現在の課題と近い将来について意見交換を行った。

3) カリキュラムの検討 (カリキュラム・ポリシーとの関連)

学部のポリシー、カリキュラムにあわせた学部としての科目があったほうがよいと提案があり、現在もある「内なる国際化」関連科目、「共生社会の理解」などの現状を検討して、将来的に、海外研修などを含む多様な社会理解という形での科目新設の検討を進めることになった。

4) 卒業後進路と教育 (ディプロマ・ポリシーとの関連と卒業後の教育機会の提供)

社会学部の教員、卒業生、学生によって発行されている社会学部社会学・社会福祉学会の雑誌 Socially に卒業生インタビューを毎年掲載する。

社会福祉学科 研究所主催のアドバンストコースが卒業後の学習に当たる。また、卒業後の進路等の動向把握の試みを行っているという紹介があり、社会学部として何かできないか検討する。

(3) 「内なる国際化」の教学改革プロジェクトと研究プロジェクト

昨年度に引き続き、教学改革プロジェクト「内なる国際化」では、担当の学部学科教員で、その取り組み方法(演習内容)について検討を進めた上で実施した。また、教員の「内なる国際化」問題への理解の浸透の努力をしている。

また関連して、社会学部附属研究所での特別推進プロジェクトとして、調査研究を社会学部の両学科教員が参加してすすめており、そのためのミーティングが適宜開催された。

(4) カリキュラム担当者会議の開催

社会学部では、両学会において複数クラス開講の少人数講義について担当者が授業開始前の教育内容と方法の確認及び実施後の評価と見直しを行っている。担当者会議を実施したのは以下の社会学科では「アカデミックリテラシー」「社会学基礎演習」「表現法演習」「社会調査実習」「演習1」、社会福祉学科では「アカデミックリテラシー」「社会福祉学基礎演習」「社会福祉学基礎実習」「社会福祉学実習」「演習1」

(5) 「DPに基づく能力測定項目」の委員会での検討

社会学部の自己点検小委員会委員が、「DPに基づく能力測定項目」それぞれの学科のDPに基づいて学生の能力測定をいかに行ったらよいのかについて話し合い、測定項目案を作成、学部教授会で議論して決定した。

2. 学科等のFD・学習会

(1) 社会学科

- 学科研修会におけるFDの実施

2019年7月24日 学生定員、オリジナルウェブサイト、2020年度以降の入試展望について学科教員全員で研修した。

- 大学の主催FD講演会等への参加

学部学科主催のFDへの参加率が高い。自己点検推進室が12月18日に開催した「IR分析報告会」には学科教員が高い関心を持ち、多くの参加があった。学科教員全員が2019年度FD参加した。

(2) 社会福祉学科

- 2019年7月31日 学科のカリキュラムについて、人事について、将来構想についての意見交換がなされた。

2020年3月11日 学科研修会として社会福祉士養成カリキュラム改正にともなうカリキュラム変更、21年度人事計画について意見交換の予定だったが、厚労省サイドの改正作業の遅れ、コロナウィルスの影響により、中止となった。

法学部

1. 授業公開

春学期と秋学期に教員間で授業公開を行っている。2019年度は、春学期は、5月6日(月)から同月18日(土)の2週間、秋学期は、12月9日(月)から同月21日(土)までの2週間、実施した。事前にアンケートで、実施科目、事前連絡の有無等を確認して、授業公開一覧表を作成して、掲示およびメール配布をしている。

2. 定期試験の問題と解説の公表

2013年度から、e-Learning 上または学部オリジナルHP上で、定期試験の問題と解説または講評を公表している。2019年度の春学期定期試験については、8月22日(木)から9月11日(木)までの3週間、公開した(既定の期間以上掲載するかは各教員の判断に委ねている。秋学期も同様)。秋学期定期試験については、3月4日(水)から3月24日(火)までの3週間、公開した。解説・講評の公表が主目的であり、問題の公開は任意としている。掲載場所は、e-Learning 上の「講義内容」または「教材」のどちらかであり、e-Learning を使用しない教員のために学部HP上に掲載場所を設けている。

3. 法学部4学科のFD活動報告

◇法律学科の2019年度のFD会議・活動等

(1) 入学前教育検討会：4月24日に入学前教育について、今年度入学生の結果や課題点を委託している駿台教研究所の担当者から報告を受け、来年度に向けて改善点等を検討した。

(2) 初年次教育検討会：9月25日に、初年次生向け要求科目となっている民事法入門、刑事法入門、基礎演習について基調報告ののち、各担当教員のやり方やより教育効果をあげるためにいかにすべきかを参加者全員で検討。続いて、拡大検討会(所属学科を問わない)において、「留学生のための法学・政治学入門」の教え方や今年度の反省点を踏まえ、留学生に対する教育のあり方について全員で討議した。

(3) 法曹コース設置検討会：春学期は、5月21日、6月4日、6月19日、7月10日、8月30日と

法曹コースの設置に向け、他大学の状況などについて検討する機会を設けた。秋学期は、9月25日、10月16日、11月12日、12月4日、1月29日、2月13日に、法曹コースの設置に向けて検討する全体会を開催した。また、11月12日、21日、12月3日、1月22日、28日には他大学法科大学院の教職員と、法曹コースにおける教育について意見交換を行った。

(4) F D 講演会への参加：学科として F D 講演会への参加を推奨しており、多数の教員が参加した。

◇消費情報環境法学科の 2019 年度の F D 会議・活動等

(1) 4月10日に学科 F D 会議を開催し、学科カリキュラムや授業評価実施対象科目の条件等について検討を行った。また、昨今では学生のメールの作法に問題があり、インターンシップ派遣先から苦情等が寄せられていることから、学生のメールの書き方の指導方法について検討を行った。

(2) 4月24日に駿台教育研究所が実施した入学前教育の実施状況の報告を担当者から受け、受講率・課題提出率の動向や今後の課題について検討を行った。

(3) 5月6日から5月18日の期間に授業公開期間を設定し、お互いの授業の相互参観を実施した。参観した授業について意見を述べ、今後の課題等について検討を行った。本学科からは穴沢准教授と井頭准教授が分野を超えた科目間で積極的な相互参観を行った。

(4) 5月29日に学科所属教員が「教学マネジメントの推進」についての F D 講演会に参加した。

(5) 8月22日から9月11日までの3週間、春学期定期試験の問題・解説を e-learning 上で公表した。

(6) 10月1日に学科所属教員が F D 講演会「シラバスの書き方、使い方」に参加した。

(7) 10月9日に学科 F D 会議を開催し、科目ナンバリングの方法について検討を行った。また、情報処理関連科目のカリキュラムについて、問題点の洗い出しと改善策について検討を行なった。

(8) 12月9日から12月21日の期間に授業公開期間を設定し、公開可能授業の一覧を公開した。また、公開された授業から学科所属教員が相互参観を一部実施した。

(9) 12月11日に学科 F D 会議を開催し、履修カリキュラム再編と新科目「AI と法」の設置を行なった。また、インターンシップ派遣先の拡充について検討を行い、学生の指導計画を含め審議を行なった。

(10) 12月18日に学科所属教員が自己点検推進室主催「IR 分析報告会」に参加した。

(11) 1月14日に学科所属教員がキャリア教育に関する F D 講演会に参加した。

(12) 3月3日に学科所属教員が F D 講演会「高等教育政策の現在の動向について」に参加した。

(13) 3月4日(水)から3月24日(火)までの3週間、秋学期定期試験の問題・解説を e-learning 上で公表した。

◇政治学科の 2019 年度の F D 会議・活動等

(1) 初年次教育

・5月21日に、担当教員の間で1年生向けの入門政治学の授業のあり方について検討した。

・11月13日と12月11日に会議を開き、政治学科の初年次教育、とりわけ政治学基礎演習のあり方について検討し、同演習で用いる学科編纂の教科書『初めての政治学』『政治学の扉』の改訂について協議した。

(2) 新任教員研修

・6月6日に新任の佐々木専任講師に報告を行ってもらい、他の教員が授業方法・学生指導その他についてアドバイスした。

(3) 全学の F D 講演会等

- ・12月18日に学科所属教員が自己点検推進室主催「IR分析報告会」に参加した。
 - ・1月14日に学科所属教員がキャリア教育に関するFD講演会に参加した。
- (4) 定期試験の解答・解説
- ・8月22日から9月11日までの3週間、春学期定期試験の問題・解説をe-learning上で公表した。
 - ・3月4日(水)から3月24日(火)までの3週間、秋学期定期試験の問題・解説をe-learning上で公表した。

◇グローバル法学科の2019年度のFD会議・活動等

- (1) 2019年4月24日に開催された入学前教育講評会にグローバル法学科教員も参加し、駿台教育研究所の担当者による講評を踏まえて、今後の課題について意見交換を行った。
- (2) 5月29日にグローバル法学科FD会議を開催し、「フィールドワーク」「留学準備講座」「海外法学学習」の授業内容および教授方法について検討した。
- (3) 6月5日にグローバル法学科FD会議を開催し、「フィールドワーク」の授業内容および運営方法についてさらに詳しく検討し、授業計画および担当者を具体化に決定した。
- (4) 10月16日にグローバル法学科FD会議を開催し、英語教育を担当している外部講師を招いて、現状の問題点を整理し、今後の対応について協議した。
- (5) 12月4日にグローバル法学科FD会議を開催し、「グローバル基礎演習」「グローバル法入門」「Introduction to Japanese Law」「民事法の基礎」「国際法」の各授業について、担当教員が現状を報告し、教員間で情報交換を行って、学生の学習意欲向上の方策を検討した。
- (6) 2月12日にグローバル法学科FD会議を開催し、英語教育を担当している外部講師を再び招いて、今年度の授業全体を振り返り、改善すべき点を整理した上で、次年度の教科書および教育方法について議論した。
- (7) 2月19日にグローバル法学科FD会議を開催し、2020年度に留学協定校で実施する「海外法学学習」の教育内容について意見を交換した。
- (8) なお、グローバル法学科においては、上記の学科独自のFD会議以外に、定例の学科会議においても毎回FD活動に関する意見交換を行っているが、その詳細については割愛する。

4. 総括

2019年度法学部のFD活動報告は、上記の通りであるが、特筆すべきは、法学部4学科の教員が各学科・学部および大学のFD活動の全てまたはいずれかに参加し、学部・学科ひいては大学の教育・研究の発展および学生の満足度向上の意義を感じ、それらの活動にかかわっていただいたといえる。また、各学科の主任教授が、主体的にFD活動を主催・主導して、学部構成員にFD活動の重要性を認識してもらう努力を続けてくださったことが本年度の結果に繋がったと思われる。ただし、FD活動への参加回数等については、各構成員に濃淡があったことも否定できない。次年度以降は、FD活動の重要性を学部構成員が共有し、さらに参加回数等を増やすとともに、より積極的に各人がかかわっていただくよう、対処していきたい。

国際学部

国際学部

学部 FD 活動総括

国際学科、国際キャリア学科ともに、大学の主催、学科の主催の FD 活動を定期的に行ってきた。ただ、学部が横浜キャンパスに置かれている関係からか、白金開催の講演会などへの一般教員の参加は、十分ではないかもしれない。

しかし、学科が主催する FD 活動は、学部・学科の特殊性、科目の固有性を踏まえた、意欲的な内容となっていると考える。国際キャリア学科に至っては、創設されてまだまだ日が浅い学科でもあり、また小規模な学科でもあるため、毎月の学科会が事実上の FD 活動の場へと転化し、カリキュラムの在り方や授業の方法などに関して、活発な意見交換が行われ、より良い学科の在り方が常に模索されている。

白金キャンパスで行われる諸活動への役職者・学部執行部以外の教員のより積極的な参加という課題はあるが、来年度以降も学部・学科の必要性に根ざした、地に足の着いた FD 活動をこれまで通り積み上げてゆきたい。

国際学科

活動日	活動内容	詳細
5/29	第 1 回 FD 講演会	<p>■開催場所：白金・横浜 ■主催：FD・教員評価検討委員会</p> <p>■講師：玉川大学 菊池重雄先生</p> <p>「教学マネジメントの推進」について、特に 3 ポリシーの実質化の部分で玉川大学の事例紹介を含めた講演</p>
7/3	第一回 FD 報告会	<p>■開催場所：横浜 ■主催：国際学科</p> <p>校外実習科目の運営、組織方法、リスク管理について平山、野口、浪岡、重富が報告を行い、議論した。</p>
10/1	第 2 回 FD 講演会	<p>■開催場所：白金 ■主催：FD・教員評価検討委員会</p> <p>■講師：大正大学 成田秀夫先生</p> <p>「シラバスの書き方、使い方」</p>
12/18	IR 分析報告会	<p>■開催場所：白金 ■主催：自己点検推進室</p> <p>学生アンケートの分析結果の報告</p>
1/8	学部 FD	<p>■開催場所：横浜 ■主催：国際学科</p> <p>国際学部全体のカリキュラムについて FD を行なった。報告は戸谷学部長。</p>
1/14	第 3 回 FD 講演会	<p>■開催場所：白金 ■主催：FD・教員評価検討委員会</p> <p>■講師：朝日学生新聞社取締役 桜井 透 氏</p> <p>キャリア教育について 朝日新聞社と他大学との共同プログラムの事例紹介</p>
1/15	学部 FD	<p>■開催場所：横浜 ■主催：国際学科</p> <p>国際学部の教育プログラムについて担当者から報告。ライティング支援カウンター、インターンシップ、現代史、校外実習。</p>

3/10	第4回FD講演会	<p>■開催場所：白金 ■主催：FD・教員評価検討委員会</p> <p>■講師：常盤 豊 氏（前 国立教育政策研究所 所長）</p> <p>「高等教育政策の現在の動向について」</p> <p>高等教育機関における教育・研究改革の一体的推進を実行する意味などについて元文部科学省高等教育局長の立場から包括的な説明があった。</p>
------	----------	--

国際キャリア学科

活動日	活動内容	詳細
4/3	学科会	■開催場所：横浜 ■主催：国際キャリア学科 ポイント制度による学科構成員の役割分担
5/8	学科会	■開催場所：横浜 ■主催：国際キャリア学科 アカデミック・アドバイザー制度の運営について
6/12	学科会	■開催場所：横浜 ■主催：国際キャリア学科 卒業プロジェクト指導について
7/3	学科会	■開催場所：横浜 ■主催：国際キャリア学科 日本語のネイティブスピーカーと英語のネイティブスピーカーを混ぜた授業の運営に関して
10/9	学科会	■開催場所：横浜 ■主催：国際キャリア学科 入学前教育に関して
11/13	学科会	■開催場所：横浜 ■主催：国際キャリア学科 国際的な学生募集活動の在り方
12/18	IR分析報告会	■開催場所：白金 ■主催：自己点検推進室 学生アンケートの分析結果の報告
1/8	学科会	■開催場所：横浜 ■主催：国際キャリア学科 国際キャリア学科の長期見込み
1/14	第3回FD講演会	<p>■開催場所：白金 ■主催：FD・教員評価検討委員会</p> <p>■講師：朝日学生新聞社取締役 桜井 透 氏</p> <p>キャリア教育について 朝日新聞社と他大学との共同プログラムの事例紹介</p>
2/12	学科会	■開催場所：横浜 ■主催：国際キャリア学科 入試制度の改善に関して
3/3	学科会	<p>■開催場所：横浜 ■主催：国際キャリア学科</p> <p>■講師：Murray Tambeau 氏</p> <p>英語教育とコンテンツのカリキュラムの調整に関して</p>
3/10	第4回FD講演会	<p>■開催場所：白金 ■主催：FD・教員評価検討委員会</p> <p>■講師：常盤 豊 氏（前 国立教育政策研究所 所長）</p> <p>「高等教育政策の現在の動向について」</p> <p>高等教育機関における教育・研究改革の一体的推進を実行する意味などについて元文部科学省高等教育局長の立場から包括的な説明があった。</p>

心理学部

2019年度 心理学部 FD 活動報告

1. 教員間の研究の情報共有を主目的として学部 FD 研修会を 2 回実施した。

(1) 2019年5月29日 13:30~15:00

鞍馬裕美准教授「アメリカの教師教育改革」

伊藤拓教授「オーストラリアの臨床心理学研究」

金城光教授「カナダの認知心理学研究」

(2) 2019年10月23日 13:30~15:00

水戸博道教授「音楽教育学について」

花田安弘教授「生理心理学について」

2. 心理学科

活動日	活動内容	詳細
7/24	学科勉強会	<p>2018 年度入学生から、国家資格公認心理師対応のカリキュラムがスタートしたが、心理学科のディプロマポリシーとの対応性をさらに深めて、よりよい心理学教育を行うためのカリキュラム構成の再検討をおこなった。</p> <p>1. よりよい心理学教育並びに心理専門職としての公認心理師対応の学部教育のための教員の役割、科目担当の適否、さらに科目ナンバリング制度の全学導入に合わせて心理学科での授業科目の授業内容の吟味、学年配置や、開講学期の階層性の吟味をおこなった。</p> <p>そのために各科目の時間割りの配置と適切な教員配置の確認、さらに特に公認心理師資格対応科目としての心理実習について、その開講時限と担当教員の配置、そして均質な教育内容を確保するための各教員のシラバスを共有し、各教員のシラバスに基づく授業運営についての討論を行った。</p> <p>2. グローバル化に対応するため、心理学科生の認定留学の推進について討議を行い、心理学科科目の認定留学者に配慮した柔軟な履修の運用を図ることが確認された。</p> <p>また、認定留学中のゼミ指導の遠隔授業の実施についても、指導教員と学生との相談の上実施できることが確認された。</p>
8/8~ 8/9	FD 推進ワークショップ (新任専任教員向け)	<p>■開催場所：グランドホテル浜松（静岡県浜松市） ■主催：私立大学連盟</p> <p>「大学教員の職能開発と FD」をテーマとして開催し、オリエンテーションやグループ討議を踏まえて、各参加者が模擬授業を行うという、豊かな実績に裏付けられた信頼できるインタラクティブな FD プログラム</p>

10/1	第2回FD講演会	■開催場所：白金 ■主催：FD・教員評価検討委員会 ■講師： 大正大学 成田秀夫先生 「シラバスの書き方、使い方」
12/18	IR分析報告会	■開催場所：白金 ■主催：自己点検推進室 学生アンケートの分析結果の報告
1/14	第3回FD講演会	■開催場所：白金 ■主催：FD・教員評価検討委員会 ■講師： 朝日学生新聞社取締役 桜井 透 氏 キャリア教育について 朝日新聞社と他大学との共同プログラムの事例紹介
10/30	第2回学科FD勉強会	公認心理師カリキュラムと心理学科のディプロマ・ポリシーとの対応性をさらに深めて、よりよい心理学教育を行うための教育体制について検討を行った。科目開設年次の適切性を確認し、専任教員のみならず非常勤講師とも各科目における身につく力の共有を図ることなどが検討された。また、3年次ゼミ担当教員とゼミ内容についてのオリエンテーションとゼミ選択の時期について、現在の2年次秋から2年次春に早めたり、サバティカル教員などゼミを持たない可能性のある教員が出る可能性についての情報を事前に徹底し、より適切なゼミ選択の機会保障を図るなどの方法が検討された。さらに適切な成績評価のあり方について、特に学科必修科目や公認心理師資格にかかわる科目について、学科でのある程度のコンセンサスに基づく基準設定の可能性について討議した。以上の一連の討議を通じ、教員のFD意識が向上したものとする。
3/10	第4回FD講演会	■開催場所：白金 ■主催：FD・教員評価検討委員会 ■講師： 常盤 豊 氏（前 国立教育政策研究所 所長） 「高等教育政策の現在の動向について」 高等教育機関における教育・研究改革の一体的推進を実行する意味などについて元文部科学省高等教育局長の立場から包括的な説明があった。

3. 教育発達学科

活動日	活動内容	詳細
5/29	学部勉強会	教員間での研究の情報共有と相互の研究の質の向上を目的に、2018年度にサバティカルをとられた教員（伊藤拓教授、鞍馬裕美准教授）からの研究報告と質疑応答を行った。

5/29	学科勉強会	「適切な入学定員管理に向けた MISSION をどう活用するか？」というテーマで、総合企画室企画課課長高野真様に「歩留まり予測システム (MISSION) の仕組みについて/2019 年度入試結果と予測データの一致に関する検討について」と題してご講演いただき、質疑応答および意見交換をおこなった。
7/31	学科勉強会	「乳幼児期の子どもの育ちの場で働くということ」というテーマで、特命教授の田代恵美子先生に、幼児期の教育者の労働環境や、幼児期の教育に関する制度等の話を伺い、幼稚園教員の養成校にあたった示唆をえた。
10/1	第 2 回 FD 講演会	■開催場所：白金 ■主催：FD・教員評価検討委員会 ■講師：大正大学 成田秀夫先生 「シラバスの書き方、使い方」
10/23	学部勉強会	教員間での研究の情報共有と相互の研究の質の向上を目的に、2018 年度にサバティカルをとられた教員（水戸博道教授、花田安弘教授、金城光教授）からの研究報告と質疑応答を行った。
12/18	IR 分析報告会	■開催場所：白金 ■主催：自己点検推進室 学生アンケートの分析結果の報告
1/14	第 3 回 FD 講演会	■開催場所：白金 ■主催：FD・教員評価検討委員会 ■講師：朝日学生新聞社取締役 桜井 透 氏 キャリア教育について 朝日新聞社と他大学との共同プログラムの事例紹介
3/10	第 4 回 FD 講演会	■開催場所：白金 ■主催：FD・教員評価検討委員会 ■講師：常盤 豊 氏（前 国立教育政策研究所 所長） 「高等教育政策の現在の動向について」 高等教育機関における教育・研究改革の一体的推進を実行する意味などについて元文部科学省高等教育局長の立場から包括的な説明があった。

教養教育センター			
実施日		名称	対象
2019 年	8 月 5 日	アカデミックライティング/ライティング支援カウンター担当者研修会 講師：佐渡島紗織 氏	専任教員 非常勤講師
	12 月 1 日	スペイン語ワークショップ 講師：Julián López Medina 氏	専任教員 非常勤講師
	12 月 12 日	明治学院共通科目「社会科学」部門 FD 研修会 講師：小川輝光 氏	専任教員
	12 月 14 日	英語コミュニケーション 1 AB 担当者研修会	専任教員

		講師：Brent Culligan 氏 Alastair Graham-Marr 氏	非常勤講師
2020 年	1月20日～ 21日	健康・スポーツ科学部門 FD 研修会 講師：金井洋寧 氏	専任教員
	1月23日	アカデミックライティング担当者研修会	専任教員 非常勤講師
	1月30日	外国語教育に関する研修会 講師：大木充 氏	一般公開
		スペイン語研究会	専任教員 非常勤講師
		韓国語研究会 共通科目英語科目担当者研修会	
	2月12日	ドイツ語研究会	専任教員
		外国語教育における IT 活用について	
	3月9日	外国語教育における IT 活用について 2	
	3月25日	外国語教育における IT 活用について 3	
	3月25日	アカデミックライティング担当者研修会	専任教員 非常勤講師

以 上